

平成29年度第1回下野市環境審議会 議事録

日 時 平成29年8月9日(木) 午後2時～4時
場 所 下野市役所庁舎 203会議室
出席委員 中村祐司会長、青柳庄一委員、安田眞一委員、後藤勲委員、野沢定雄委員、
篠崎安史委員、隅谷サヨ子委員、岡本英樹委員、桑名満委員、金田幸子委
員、渡邊欣宥委員、熊田裕子委員
欠席委員 増田崇委員
出席者 広瀬市長
事務局 手塚市民生活部長、福田環境課長、塩濱主幹、早乙女主幹、杉山副主幹

○次第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 市長あいさつ
- 4 自己紹介
- 5 会長及び副会長の選任について
- 6 議題
 - (1) 下野市環境基本計画の現状と対応方針について
 - (2) 下野市環境基本計画の進捗状況について
 - (3) 今後のスケジュールについて
 - (4) その他
- 7 閉会

○開会

(事務局) 平成29年度第1回下野市環境審議会を開会する。

○委嘱状交付

(事務局) はじめに、広瀬市長より委嘱状の交付を行う。
[委嘱状交付]

○市長あいさつ

(事務局) 開会にあたり広瀬市長よりごあいさつ申し上げます。

(広瀬市長) 皆様こんにちは。本日は暑い中、下野市環境審議会にご出席いただきありがとうございます。先ほど委嘱状の交付を行わせていただいたが、本日もご出席の皆さまには快く委員を引き受けてくださったこと、厚く御礼申し上げます。下野市環境基本計画を策定してから早5年が過ぎ、見直しの時期となった。PDCAサイクルに沿った様々な部分において検討をしていただき、共に協議をしていければと思う。よろしくごあいさつ申し上げます。

○自己紹介

〈名簿順に自己紹介〉

○会長及び副会長の選任について

(事務局) 下野市環境審議会規則第2条第1項の規定に基づき、会長及び副会長は委員の互選となっているが、いかがいたしましょうか。

(篠崎委員) 会長は宇都宮大学の中村委員に、副会長は教育委員の熊田委員にお願いしたい。

(事務局) 委員の皆様いかがでしょうか。

〈異議なし〉

○議事

(1) 下野市環境基本計画の現状と対応方針について

(事務局) 資料1に基づき説明。

○環境基本計画の中間見直しは、取組体制の進捗状況を整えていく方向で考えている。見直しにあたっての基本方針として、基本計画の骨格である目指す環境像、基本目標、個別目標、取組の方向は変えずに市民会議と連携を図りながら協働プロジェクトと市が進めていく取組内容の見直しを行っていく。計画策定後に様々な社会状況の変化や新たな課題が出てきているため、実行性のあるものに見直していきたい。

○協働プロジェクトは取組内容に対する実施状況が悪いということで、61項目の取組の中で、実施と未実施を含めて37項目を挙げている。この取組の中では、協働で取り組むべき事業と市で取り組むべき事業が混在しているところもあるので、協働プロジェクトの精査を行い統合・再編を行うということで、現在、市民会議の意見を求めている。こちらの精査等を行い、各数値の再設定や各項目の文言の修正・追加・削除、必要に応じて項目の統合も検討しながら進めていく。

○第IV編の市が進めていく取組は、実際は市で取り組むべきものではないものや協働で既に取り組んでいるものがあるので、取組の内容を把握して精査したうえで、整理・統合・廃止というようなかたちで進めていきたい。こちらも、市民会議や庁内推進委員会で精査したものを第2回の審議会で見直し案の提示をしたいと考えている。

○しもつけ環境市民会議の体制強化については、協働プロジェクトがスムーズに進むよう体制の強化を図っていきたい。対応方針としては、連携体制の強化や活動に対して財政的な支援を行うことで、基盤強化を図り、市と連携しながら実的な支援を行っていきたい。

○しもつけの環境と環境報告書については、各課から挙げてきたものや市民と協働で実施したものについて分かりづらい・評価しづらいとの意見がでたので、分かりやすいものに変えていきたい。環境報告書については、考察等を取り入れて、作成したいと思っており、次回の会議までにフォーマットを定め実施報告書・実施計画書を取りまとめて審議会へ提示し、市民に分かりやすく公表していきたい。

- (中村会長) ただいまの事務局の説明について意見をいただきたい。
- (安田委員) 協働プロジェクトがスムーズに進むように体制を強化するとの話があったが、市民会議で出したことは、フォーラムの開催だけである。市民会議で対応できる範囲は広くないので、期待をされても無理なのではないか。自治会のほうがいいのでは。市民会議を外して検討を行ったほうが、体制が強化されるのではないだろうか。
- (岡本委員) 確かに市民会議のメンバーは少なく、その中でやろうとしても難しいと思う。おっしゃる通り、自治会や組織を挙げてやれば活動の範囲が広がると思うが、自治会でそこまでやってもらえるだろうか。
- (熊田委員) 先ほどのご意見で市民会議が大変であるのは分かったが、その中で会費を徴収しているのは。
- (事務局) 会費については、もともと賛助会員からは会費をいただいていたが、今年度から正会員からも会費をいただくということで規則を改正した。
- (中村会長) 他に質問や意見がなければ次の議題に移る。

(2) 下野市環境基本計画の進捗状況について

- (事務局) 資料2に基づき説明。
- 第Ⅲ編の協働プロジェクトの取組は、事前に担当課とヒアリングを行い、実績と今後の予定として取りまとめた。その中で各課に意見を求め、再度、平成28年度の実施状況と平成29年度の見込みについて改めて確認をし、今後、統合・廃止を行いながら中身の精査を行い、平成29年度以降の計画書として作り上げていきたい。
 - 取組の実施と未実施については、実施は現在または一部実施しているもの、未実施については計画はあるが時期が未定のもの、空欄は取り組みがないものや協働プロジェクトとして実施できないものということで記載している。
 - 第Ⅳ編については、市が進めていく取組として271項目を掲載している。平成28年度の状況、平成29年度の実施計画について担当課の意見を聞き、取組内容の統合・整理を行っていきたい。
- (安田委員) 平成25年度から28年度までの実施状況がほとんどデータに反映されていないので、進捗状況が分からない。そこについてはどうお考えか。
- (事務局) 現在、各課とヒアリングを行っており、実施状況や数字の見直しを行いながら一覧表を作成している段階である。それに伴い、まとめたものを次回の市民会議の時に提示できればと考えている。
- (野沢委員) 計画書と報告書のフォーマットの見直しが必要であると思う。推進する課を明確にすればもっとスムーズに計画が策定できるのではないだろうか。実施の定義を緩和させることで出来ていることが増え、下野市のPRにも繋がるのでは。

- (隅谷委員) 「協働」の捉え方が疑問である。担当課等にこだわらず、市民と一緒にやったことが「協働」になるのではないだろうか。また、市民一人ひとりが実施していることが結果に反映されていないのが残念である。
- (安田委員) 今まででは団体と市との連携が重要視されていたが、これからは市民と市との連携という方向にベクトルをもっていければと思う。
- (篠崎委員) 関連事項も実施の欄に書いて良いのではないだろうか。
- (野沢委員) 団体及び個人がやっていることを全て報告してもらい、それを市が拾えばいいのではないか。項目が細かすぎるから、対応に困るのでは。
- (事務局) 計画の見直しについては、年内を期限に考えているため、次回の審議会までに見直し案を作成し、それに対してご意見をいただきたい。期限が迫っているため、フォーマットのほうから変えるのは厳しいところがある。28年度までの実施状況については、「環境報告書」で表現をさせていただきたい。
- (中村会長) 他に質問や意見がなければ次の議題に移る。

(3) 今後のスケジュールについて

- (事務局) 資料3に基づき説明。
- 今年度は中間見直しの年なので、開催回数を通常は2回のところ4回を予定している。時期的には第2回目を10月下旬、第3回目を11月下旬に考えている。また、意見を集約したものを第4回目の2月に予定している。その中で随時意見をいただきながら、最終的には3月に見直し案の提示ができればと考えている。
- (中村会長) 質問や意見がなければ次の議題に移る。

(4) その他

- (事務局) 第Ⅲ編の協働事業の中で作成した生物多様性マップは、下野市の希少動植物に関する情報が載っている。今後の環境学習等に活用していただければと思う。
- (野沢委員) これはホームページには掲載されていないのか。
- (事務局) まだ掲載までは進んでいない。今後用意していく。
- 下野市のごみ分別アプリ「サンアール」を6月から運用開始した。ごみの出し方やごみの分類方法等、便利な機能がたくさん盛り込まれているので、ぜひ、活用してほしい。

○閉会

- (事務局) 以上をもって第1回下野市環境審議会を閉会する。